

平成 30 年 6 月 6 日

各大学長
各大学農学部長 殿
各関係機関長

弘前大学教育研究院自然科学系長
佐々木 長市
(公印省略)

樹園地における農業気象学分野教授の公募について（依頼）

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学系農学・生命科学領域では、下記要領により生物共生教育研究センター農業気象学分野の教授を公募することになりました。つきましては、関係各位に周知下さいますようお願い申し上げます。

なお、本件は、農学生命科学部ホームページの教員公募情報(<http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/stafflist/koubo/>)にも掲載しております。

記

1. 募集人員 教授1名（任期なし）
2. 所 属 自然科学系 農学・生命科学領域
3. 専任担当 農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場
4. 専門分野 樹園地における農業気象学
5. 担当科目
学部：〔専任担当科目〕農業気象学
〔分担科目〕農場実習（果樹の剪定・摘果・着色管理・収穫・選果・加工、野菜類の播種・間引き・培土・収穫・選別、雑草管理、トラクター運転など）、作物生態学など
大学院：〔専任担当科目〕大学院専攻分野の担当科目、特別研究、特別演習
〔分担科目〕研究方法論など
教養教育科目：ローカル科目群、グローバル科目群、自然・科学科目群など
6. 応募資格 次の要件をすべて満たす者
 - (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有すること
 - (2) 教育上の実績と、原則として著書及び学会誌またはこれに準ずるものに掲載された原著論文・総説を20編以上有すること
 - (3) 原則として最近5年間に公表された同上の業績を5編以上有すること
7. 着任時期 平成30年12月1日（以降のできるだけ早い時期）
8. 選考方法
 - (1) 書類選考
 - (2) 候補者による発表（これまでの研究と今後の教育研究・社会貢献について）
 - (3) 候補者に対する面接
9. 提出書類
 - (1) 履歴書（高等学校卒業以後の履歴を記載したもの）
 - (2) 研究業績目録（業績の区分、記載方法についてはホームページを参照してください）
 - (3) 研究業績目録に記載された著書、原著論文、総説のうち主要なものを20編以内の別刷又はコピー
 - (4) (3) のうちの5編以内について、各編の学術的意義に関する簡潔な説明書
 - (5) 教育業績書
 - (6) 地域連携・社会貢献に係わる業績説明書

(7) 学会・社会における活動状況の説明書

(所属学会における活動及び公的機関の委員会専門委員などの社会における活動について記載してください)

(8) 従前の研究活動の特徴と今後の教育及び研究に対する抱負を述べたもの(それぞれ2,000字以内)

※ 必要書類中(1)、(2)、(5)、(6)は所定の様式に記載して下さい。様式は、農学生命科学部のホームページからダウンロードして下さい。書類に不備がある場合でもそれに基づいて審査が行われます。不備が多いのは研究業績目録です。記載の仕方に十分にご注意ください。

10. 応募期限 平成30年8月17日(金)(書類必着) 期限を過ぎた応募は受けません。

11. 書類の提出先

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地

弘前大学農学生命科学部 総務グループ(総務担当)宛

※封筒に「教員応募書類(樹園地における農業気象学分野教授)在中」と朱書きし、簡易書留、レターパック、EMS、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残る方法で送付して下さい。

12. 問合せ先

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地

弘前大学農学生命科学部 総務グループ(総務担当)

電話:(0172)39-3748、FAX:(0172)39-3750、E-mail: jm2745@hirosaki-u.ac.jp

備考

- (1) 生物共生教育研究センターは、藤崎農場と金木農場からなり、実践的な農業教育とフィールドに根ざした農学研究を推進するとともに、公開教育や地域貢献事業を積極的に展開しています。今回の公募は、藤崎農場樹園地における農業気象学分野教授の教員補充に伴うものです。
- (2) 国内最大のリンゴ生産地帯に立地する藤崎農場では、独自に育成した特徴のあるリンゴ新品種を地域自治体等と一体となって普及推進するなど、学内外と連携して地域農業の活性化に取り組んでいます。
- (3) 今回公募する教員の担当予定授業科目は、教養教育科目、学部専門教育科目(農業気象学、農場実習など)および大学院修士課程授業科目(専攻分野の担当科目、研究方法論、特別研究など)です。これらの科目の中には複数の教員による分担も含まれます。
- (4) 今回公募する教員には、園芸作物全般にわたる実習教育経験を有しつつ、樹園地を対象とした農業気象学に関する研究実績が豊富で、リンゴ等園芸作物の温暖化影響評価と新技術開発に係わる園芸学分野をカバーする教育研究を統合的に実施することが可能で、その成果を地域の農業振興の場面に展開できる方を望みます。
- (5) 本学は、岩手大学大学院連合農学研究科の構成大学であり、採用者は連合農学研究科教員となる資格審査を経て博士課程の学生を指導することになります。
- (6) 選考の過程で面接や研究・教育・社会貢献に関する発表をお願いすることがあります。その場合、旅費は応募者の負担となります。
- (7) 採用後の給与については、弘前大学で規定する年俸制が適用されます(ただし、任期付きではありません)。
- (8) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページ(<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)をご覧ください。
- (9) 弘前大学では、外国人の方の積極的な応募をお待ちしております。
- (10) 弘前大学は、全学的な教員組織として「教育研究院」を設置しています。教員は「教育研究院」に置かれるいずれかの学系に所属し、教育研究組織である学部、大学院研究科、附属病院などの専任担当として教育、研究、診療等の業務に従事することとなります。なお、必要に応じて他の教育研究組織の教育や業務、あるいは教員養成部門における教育を担当していただく場合があります。

以上